

平成 2 9 年度

高規格救急自動車

仕 様 書

泉州南広域消防本部

[1] 総 則

1 この仕様書は、泉州南広域消防本部（以下「本部」という。）が購入し、市場消防署日根野出張所に配置する高規格救急自動車について、必要な事項を定めるものとする。

2 概要

製作については、この仕様書に定める他、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱、その他関係のある法令通達に適合し、緊急自動車として承認を得られるものであること。

3 契約にあたっては本仕様書を承認し、不審な点は係員と協議したうえで契約するものとし、契約後における一切の疑義はすべて本部の解釈に従うものとする。

4 製作に伴う諸種の理由で、本仕様書等に変更を必要とするとき、あるいは疑義が生じた時は、直ちに係員へ連絡のうえ、指示を受けるものとする。

5 製造社、型式等を指定した機材について、同等品を選択する場合は同等品申請（カタログ添付）を行うものとする。

6 設計、製作にあたっては、特許、その他権利上の問題に注意し、この問題が生じた時は製作者において、その責任を負うこと。

7 製作にあたっては、係員と十分打ち合わせを行い、次の点に留意すること。

- (1) 軽量、頑丈、優美であり、器材の取り出し及び取扱いが簡単であること。
- (2) 車体は、常時登録された車両の総重量の状態において、十分耐えうるものであること。
- (3) 各装置は、保守点検に容易な構造とすること。
- (4) 製作、艤装全般にわたり厳重検査を実施すること。

8 検 査

仕様書、承認図等により係員立会いの上、次により検査を行う。

- (1) 中間検査（発注者が適当と判断する時期）
- (2) 完成検査（艤装の完了後）

9 細部打合せ及び承認図等の提出

契約後、本部にて細部打合せを行うものとし、細部打合せ終了後、速やかに次に掲げる図書を2部提出し、本部の承認を得ること。

- (1) 製作工程表
- (2) 製作概要図
- (3) シャシ関係図書
 - ア シャシ諸元明細
 - イ エンジン諸元明細
 - ウ 電気配線図（回路の電流値計算書を添付すること）
- (4) 艤装図
- (5) 標準装備以外の装備取付図
- (6) その他本部の指示するもの

10 完成図書等の提出

- (1) 9(2)～(6)に掲げた図書
- (2) 外注品一覧表
- (3) シャシ取扱説明書（冷房関係に係るものを含む）
- (4) 分解整備に必要な資料（整備要領書、パーツリスト等）

11 保証期間は納車の日から1年間とし、構造上（部品、材料の不良を含む）あるいは、艤装にかかる技術上のミスによって故障し、又は不備欠陥が生じた場合は、保証期間が過ぎても責任を持って速やかに処置すること。

12 納期等

- (1) 納期：平成29年11月30日
- (2) 納入場所：泉州南広域消防本部
- (3) 納入時、車両及び救急装備品について、取り扱い説明を行うこと。

13 その他

- (1) 入札額には、諸経費（自賠責保険料、重量税、リサイクル料を除く）を含むものとする。

ただし、自賠責保険料、重量税、リサイクル料は、契約者が立替え払いするものとする。

- (2) 予備タイヤを含む現行車両（サイレン、赤色灯、無線機等の消防関係装備品は撤去する）を下取りすることとするが、困難な場合は廃車に係る費用を受注者が負担する。

なお、新車両の入札金額は、下取り金額を評価（加味・相殺）した金額とし内訳書にはその金額を記載すること。

- (3) 下取りを依頼する救急車

車名・登録番号：トヨタ 和泉 831 の 119

登録年月日：平成15年10月

走行距離：257,420km

（平成29年4月10日現在）

参考資料：別添車検証（写し）

- (4) 旧車両については、係員の指定する日に近畿運輸局大阪陸運局にて所定の手続き（抹消登録）を実施することとし、費用については受注者が負担すること。

なお、抹消登録後は抹消登録証明書を本部に提出すること。

上記の件に関しては「消防車両等の適切な管理及び処分について」（平成16年8月24日付 消防消第169号消防庁消防課長通知）に基づくものであること。

- (5) 新規登録番号については、別途本部の指示する番号で登録すること。

[2] 仕 様

1 諸元

ガソリンエンジンを搭載し、四輪駆動の高規格救急自動車とする。

※ 車両及び車両装備は、メーカー公表の最新のものとする。

2 艤装及び装備品

- (1) 外装関係

ア 赤色ベルトラインを取り付けること。

イ 消防本部の名称（泉州南広域消防本部）を、カッティング丸ゴシック体シールで、車体左右及びバックドアに貼り付けること。

なお、文字は左から右への横書きとし、対空表示及びその他の表示に

については別途指示する。対空表示を除く文字については、反射材を使用すること。

ウ サイドにレスキューセット（バール、万能斧、シートベルトカッター、ガラスカッター、クリッパー）を取り付けること。

エ 前面中央に消防マーク（直径150mm）を取り付けること。

オ 赤色警光灯は、ルーフと一体感をもたせた警光灯とし、フロント及びリアサイド2箇所に大型散光式警光灯（LED式）を装備すること。

なお、フロントルーフ赤色警光灯は左右側面からも点灯が容易に視認できるようにLED赤色灯3式を前方放射状に増設しバックドア上部にもLED赤色灯を設けること。

カ フロントバンパーの左右2箇所に赤色点滅灯（LED式）を赤色警光灯と連動させて取り付けること。

キ サイレンアンプは大阪サイレン製OPS-5101VQと同等品とし、出動予告・指定する各種音声合成・サイレン音スイッチを設置するとともにスピーカは外部から目立たない位置に取り付けること。

ク バックドア開口部左側にグリップ（長タイプ）を取り付けること。

ケ ナンバープレートにフレームを取り付けること。

コ ヘッドランプはLEDヘッドランプ（ロービーム）とし、フロントフォグランプを取り付けること。

サ 車両両側にルーフサイド、バックドアにLED作業灯（スイッチ付）及びLED路肩灯（保護枠付）を指示する位置に取り付けること。

なお、路肩灯のスイッチはスモールランプと連動とするが、切替スイッチを取り付けること。

シ 運転席からフロント左下死角部の視認性を得るため、フロントアンダーミラーを取り付けること。

ス 左右フロントドアにサイドバイザーを取り付けること。

セ 助手席から後方が確認できるよう、アウトサイドミラーを指示する位置に取り付けること。

ソ 左右フロントステップにアルミ縞板を取り付け、セーフティウォークを貼り付けること。

タ サイドステップにアルミ縞板を取り付け、セーフティウォークを貼り付けること。

チ リアバンパーにステンレス製傷つき防止板を取り付け、リアステップにセーフティウォークを貼り付けること。

- ツ 左右フロントドア上方ルーフサイドにフラッシャーランプ（指示器）を取り付けること。
- テ ステンレス製の旗たてを車両左側ドア上部付近に1箇所、ネジ止め付で取り付けること。（アルミ製ポール1本を含む）
- ト 右側キャビネット後方にLED式赤色灯を取り付け、バックドア開放時に赤色警光灯と連動させること。
- ナ 助手席に、ウーサイレンの足踏みスイッチを取り付けること。
- ニ モーターサイレンスイッチを2箇所に取り付け、自動吹鳴りレーを付属すること。
- ヌ その他は、メーカー標準装備とする。

(2) 内装関係

- ア ストレッチャー架台は患者室後部中央付近に設け、メインストレッチャーの収納及び取り出しが安全且つ容易にできる構造とし、落下防止改造を施すこと。
また、ストレッチャー架台は左右スライド機能及び防振機能を有し、胸骨圧迫等の処置の際に防振機能を固定できる構造とすること。
- イ 患者室フロアのコーナー等には、室内を水洗いできるようにシーリングを施すこと。
- ウ 患者室の右側面窓ガラスは全面白色フィルム、左側面及び後面窓ガラスは下2/3をくもりフィルム処理をし、患者室の左側面窓（スライドドア部も含む）にカーテン及び後面窓に電動カーテンを取り付けること。
- エ 運転席後部に高さ調節及び取り外し可能な棚を内部に有する縦型収納庫を取り付けること。
また、扉内側（2箇所）にネットシェルフを取り付けること。
- オ 患者室の指定する位置（6箇所）にグローブボックス固定ベルトを取り付けること。
- カ 患者室前部の指定する位置にゴミ箱を取り付け、その上部に収納庫を設けること。
- キ 患者室右側前部に3段収納庫1個を取り付けること。
- ク 患者室左右ルーフサイドに収納庫（計4個）を取り付け、その内指定する収納庫を施錠装置付とすること。
- ケ 患者室右側後部窓付近の指定する位置に大型収納庫を取り付けること。
- コ 患者室天井（3箇所）にルーフネットを取り付けること。
- サ 患者室にホワイトボードを指示する位置に取り付けること。

- シ 患者室前部の指定する位置に手指消毒用収納庫及び信号灯収納庫を取り付けること。
- ス 患者室の座席は合計4席（横向き2人掛け・前向き1人掛け・後向き1人掛け）とし、前向き1人掛けはハイバックシートとすること。
また、各座席にはシートベルトを設け横向き2人掛けシート下は収納庫とすること。
- セ ハイバックシート下部に酸素ボンベ（2L×1本）の搭載装置を取り付けること。
- ソ 後向きシート下部に冷温蔵庫を取り付けること。
- タ フィルター付換気扇を取り付けること。
- チ 患者室の指定する位置（2箇所）にアシストグリップを取り付けること。
- ツ 患者室にデジタル電波時計を取り付けること。
- テ 患者室の指定する位置に携帯型吸引器（支給品）を取り付けること。
- ト 患者室の指定する位置に吸引カテーテル保持パイプを取り付けること。
- ナ 患者室右側に医療機器等コード収納庫（上1箇所、下2箇所）を設けること。
- ニ 患者室右側に収納庫を設け、スクープストレッチャー（支給品）及びバックボード（支給品）が収納でき、容易に取り出せる構造とすること。
- ヌ 患者室内に酸素ボンベ（10L×2本、支給品）及び加湿流量計（支給品）を活動の支障とならない位置に取り付けること。（配管工事を含む）
- ネ 患者室天井（2箇所）に輸液ビンホルダーを取り付けること。
- ノ 患者室右側後部に医療機器の取り付け用の汎用メディカルポールを取り付けること。
- ハ 患者室にゴミ箱を取り付けること。
- ヒ 運転室上部、患者室右側後向きシート上部及び右側窓上にフックを取り付けること。
- フ バックガイドモニター及びSDカード式カーナビゲーション（納品時最新型のものとする）を取り付けること。
- ヘ アンテナ分離型ETC車載器（ビルトインタイプでカーナビゲーション連動とする）を取り付けること。（セットアップを含む）
- ホ ドライブレコーダーを取り付けること。（カーナビゲーション画面で再生可能であること）
- マ 運転席側にフレキシブルマイクを取り付けること。
- ミ 運転席側と助手席側にフレキシブルマップランプを取り付けること。

- ム 助手席から患者室が確認できるように、インナーミラーを取り付けること。
- メ 運転席と助手席の間に蓋付き収納ボックス（A3サイズ）を取り付けること。
- モ 運転室及び患者室の指定する位置に地図収納庫を取り付けること。
- ヤ 各座席には、厚い透明のビニール保護シートを取り付けること。
- ユ 運転席及び助手席にフロアマットを取り付けること。

(3) 電装関係

ア 車内の照明は、傷病者の症状及び救急隊員の業務遂行に支障のない明るさを有すること。

また、患者灯2個（角度調整付）を設け、後部隊員席上部に照明を取り付けること。（照明については、LEDで対応できるものについては、全てLEDとする）

イ バックドアにバックドアスポットランプ（角度調整機能付）を取り付けること。

ウ 後退警報音声装置（解除機能付）を取り付けること。

エ 車両後部に外部AC100V電源用マグネット式コンセントを取り付け電源供給時には車両バッテリーに自動充電する構造とし、バッテリーについては点検、着脱が容易にできる構造とすること。

なお、外部電源入力中にエンジンスタートができないようにスターターカット改造を行うこと。

オ 患者室内にインバーター（DC12V-AC100V用・容量300W）を取り付けること。

また、AC100V用及びDC12V用コンセントを運転席、助手席後部及び患者室内の指示する位置に取り付けること。

カ AC100V及びDC12Vの電源自動切替構造とし、エンジンを始動せずに積載機器内臓バッテリーの充電及び車内での積載機器の取扱いができるようにすること。

また、機器の故障を防ぐためコンセント接続時には、エンジンが始動できない構造とすること。

キ 無線機（消防救急デジタル無線）は現行車両から積み替えとするが、同軸ケーブル、無線アンテナ及び埋め込み式無線モニター用スピーカーは当該事業により新規整備するものとし、運用可能な状態とすること。

ク 無線機本体は、助手席付近の容易に操作及び視認できる位置に取り付け、患者室内の指示する場所に送受話器を取り付けること。

また、無線共用器等は活動に支障のない位置とすること。

ケ AVMは現行車両から積み替えとするが、同軸ケーブル等は当該事業により新規整備するものとし、運用可能な状態とすること。

コ AVM本体は、助手席後部の指定する位置に取り付けること。

サ 患者室内に点検口（2箇所以上）を設け、無線アンテナをルーフ上部に取り付けること。

なお、同軸ケーブル等はフレキシブル配管で施工し、指示する位置に取り付けること。

シ 埋め込み式無線モニター用スピーカー（ON/OFFスイッチ付）を運転室及び患者室（3箇所）に取り付けること。

ス 走行時に無線機に入る雑音を防止するための処置を講ずること。

セ 運転席の指定する位置に盗難防止スイッチを取り付けること。

3 車両関係取付品

(1) 患者搬送機材

メインストレッチャーはエクステンジシステムとし、強固且つ軽量の構造で高さ、背もたれ及び下肢側がそれぞれ数段階に調節可能であること。

また、どの高さで曳航しても後輪の2輪が自在に動き、ストッパー機能を有すること。

なお、ストレッチャーはアンダーキャリッジから容易に着脱でき、点滴保持用のポール、サイドアームプレート、患者固定用ベルト、専用枕を取り付けること。

(2) その他機材

ア スタッドレスタイヤ（ホイール付）5本（納車時は、スタッドレスタイヤを装着）

イ タイヤチェーン

ウ 非常信号灯

エ 停止表示板

オ トルクレンチ（ホイール締め付け用）

カ マグネット式電源引き込み装置用コード

キ 納車一か月後のオイル・エレメント交換料を含むこと。

(3) 支給品の取り付け工事

ア 二連式加湿酸素流量計（オキシパック OX-FDX）

イ 人工呼吸器（ANSWER KOM299DS）

ウ 患者監視装置（ベッドサイドモニタ BSM-3562）

- エ 半自動式除細動器 TEC-2603【印刷機を取付工事を含む】)
- オ 携帯型吸引器（パワーミニック VL-60）
- カ ウォール型アネロイド血圧計（タイコス 767シリーズ）
- キ その他指定する装置